

教育課程編成

(1) 教育課程編成の基本方針

児童の人間としての調和のとれた育成を目指し、新学習指導要領の理念を念頭に、

- 子どもたちが未来社会を切り拓くための資質・能力の育成を図る。また、その際、子どもたちに求められる資質・能力とは何かを社会と共有し、連携する「社会に開かれた教育課程」に留意する。
- 学習規律やマナーを重視し、落ち着いて学習できる環境を創る。
- 知識の理解の質を高め、確かな学力の育成を図る。
- 豊かな心や健やかな身体の育成を図る。

を基調として、本校の教育目標

「夢に向かって ふみ出す一歩」～やさしく かしこく たくましく～

具現化のため、教育課程の適正な編成と運用を行う。

(2) 教育課程編成の方針と運用

- ① 「A 日課(通常日課)」 「B 日課(集会日課)」 「C 日課(会議日課・水木)」で運用する。全日課とも45分授業を原則とする。
- ② 委員会活動(10時間)とクラブ活動(11時間)の時間は、金曜日の6校時に設定する。活動がない場合は、授業時間として活用する。
- ③ 職員研修日を原則水曜日とする。
- ④ 水曜日以外で職員研修や職員会議を実施する場合は、C日課を適用する。
- ⑤ ゆりの木タイムの業間10分間を活用し、体力の向上を目指す。
 - ・原則火曜日(できるだけ週1):パワーアップタイム(かけ足運動、なわとび等)
 - ・その他の曜日:自由遊び(外遊びを奨励する)
- ⑥ スキルアップタイム(8:00~8:15の15分間)を設定し、学力の定着を図る。
 - ※ 月曜日は職員朝会のため、読書。
- ⑦ 読書タイム(1:30~1:40の10分間)を設定し、読書活動を充実させる。
- ⑧ 算数の時間は担任と担当による「TT学習」「少人数学習」を基本とする。また、専科での学習も実施する。
- ⑨ 学年間での担当教科の交換は可とする。